

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部 「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙
2024年9月号(第184号)
発行責任者 松尾 基昭

時局講演会

2024/9/4

新所沢公民館ホール

講師：群馬大学名誉教授 高橋 久仁子

「健康食品」で
健康を買えますか?



写真撮影 梅津 博紀氏

お知らせ

ところざわ倶楽部 第18期 定期総会のご案内

日時 2024年11月28日 (木曜日) 13時30分~16時

場所 松井公民館 ホール

時間	受付開始	13時00分	
	開始	13時30分	
	第1部	13時30分~15時	18期定期総会
	第2部	15時~	所沢演芸会
			演歌/民謡 ぎんちゃん 昭和歌謡 木村明美さん
	閉会	16時	



今年度は「銀の翼で羽ばたこう！」のテーマの下、皆さまと共に盛大に盛り上げましょう！
本年度活動の集大成として、皆さま方の積極的な参加をお願いします。

2024年9月27日（金）所沢市中央公民館ホール&ホワイエ

開催内容

【舞台部門】12:00～16:00

- * 【特別出演】重松流祭囃子保存会による「重松流祭ばやし」（所沢市無形民俗文化財）
- * 食を通して所沢を知る会【未来の食はどうなるか考えてみませんか】
- * 所沢の自然と農業【地球は誰のもの】
- * 民話の会【新作2編「所沢民話」を楽しく語ります～喜ばれることに喜びを】
- * スマイルパイレーツ【チアダンス】
- * ドラマティック・カンパニー【シェイクスピア作・ヘンリー6世 朗読】
- * 懐かしの映画・鑑賞会【みんなで楽しく踊りましょう】

【展示部門】11:00～16:30

- * 14 サークルの活動紹介
アジア研究会/楽悠クラブ/食を通して所沢を知る会/地球環境に学ぶ/ところざわシニア世代地域デビュー支援の会/所沢の自然と農業/野老澤の歴史をたのしむ会/ドラマティック・カンパニー/懐かしの映画・鑑賞会/脳活サークル/傍聴席/民話の会/ITサロン/謡曲・仕舞を楽しむ会（観世流） 以上・全14サークル
- * 個人作品
絵画/書/写真/陶芸/生け花 他

後援：所沢市社会福祉協議会／NPO法人 フードバンクネット西埼玉

重松流祭囃子（じゅうまりゅうまつりばやし）とは？

今から190年前に所沢の現旭町に生まれた古谷重松（じゅうまつ）が編み出したお囃子で、幕末から明治初期以降、所沢村を中心に多摩地区に広まりました。お囃子の伝承は全て口伝です。笛（篠笛）、付け（小）太鼓2基、おうかん（大太鼓）1基が演奏の基本で、助っ人に摺り鉦（チャンギリ）が加わり賑やかな演奏です。

江戸囃子や関東地域のお囃子より「やま・たに」の強弱を楽しめるお囃子です。曲調はジャズの演奏が特徴、「地（じ）」を叩く（基本リズム）付け太鼓に「からみ」（アレンジ）で叩く付け太鼓の妙技、曲目には「静かもの」と「にぎやかもの」があります。実際の演奏を直接見聞きしてみてください。

『おかめ・天狐・獅子がまっています！』囃子連

懐かしの映画・鑑賞会 二上 拓夫

市民大学 31 期生 活動開始

市民大学 31 期企画委員長 堀 倫邦

令和 6 年 6 月 6 日、生涯学習センターに続々と新入学生が集まりました。

それぞれにとって久しぶりの入学式を迎えられるので、緊張気味の表情です。迎える企画委員も初めてのことなので、緊張気味でも笑顔を出して対応していました。

27 期生の時にはコロナという前代未聞の病禍があり、それ以来分室での講座開催になり、大勢の市民大学生が一堂に集まるのは久しぶりの事です。参加された方の中には、コロナが落ち着くまで長らく待つて応募したという方もいらっしゃったようです。

応募総数 99 名で入学者数 70 名。平均年齢 71 歳という市民大学 31 期生の開講です。

人生の学びは尽きないし、新たに興味を持って人生を充実させたいという気概にあふれた顔つきの方たちばかりのように感じられました。

応募の動機はそれぞれにあるのですが、共通するのは同じ所沢市民であり、地域を愛する気持ちが強い、所沢をもっと知りたいということではないかと思えます。

これから始まる一年次の多彩な講座で学ぶ「全体学習」と、二年次の 7 講座に分かれての「グループ学習」のコースを、みんなで刺激しあいながら頑張っていく予定です。

一年次の講座はどのようなものがあるのか、少し紹介しましょう。

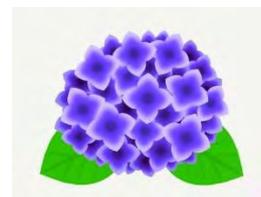
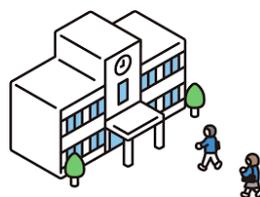
一回目は、文化財保護課職員による『所沢の歴史と文化』。長く住まってもあまり知らない地元の縄文時代からの歴史や、住み着いた人たちがどのように生活を展開していったのかを学んでいくこととなります。

二回目からは、作曲家・演奏家・演出家である笠松先生から『音楽』、2 週にわたって情熱的な講義を聴かせてもらいます。笠松先生にはところざわ倶楽部でも

お世話になっております。

その後、『文学』が 2 週続きます。清原先生による「池波正太郎の世界」と、さいとうなお先生の「歌人 三ヶ島霞子」です。興味惹かれる講座です。

夏休み前の最後の講座は、早稲田大学講師李先生の『福祉』。「超高齢社会に求められる社会福祉の役割とは」。夏休みにじっくりと咀嚼したい課題ですね。

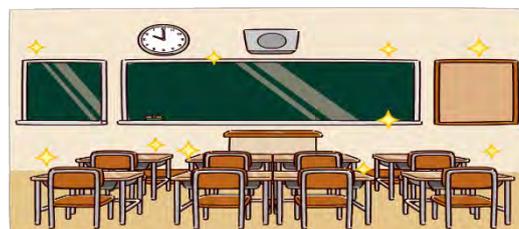


夏休みが終わってからも、頭脳から汗がにじむような講座が続きます。

初々端東京女子大学教授の大谷先生『私たちの暮らしと AI 技術』。最近聞かない日がないほど頻繁に新聞やテレビに登場する AI 技術とは、一体いかなるものか、どのように生かすのかヒントを探ります。

その他にも、お金を払ってでも聴きに行きたいような魅力的な講座が、2025 年 1 月の末まで毎週のように続いていきます。古典芸能『能楽』や『落語』、『健康スポーツ』、『食の安全』などなどです。一度市民大学を終了された方でも、また入学したくなるかもしれません。そういう場合は、修了してから 5 年経過すると、また応募できるというルールもありますし、実際に 31 期生にも何人かが再入学されていますよ。

二年次にも楽しみなグループ活動が待っているので、受講生も企画委員も息切れしないようにマイペースで進んでいければ良いなと思っています。





文芸講座 「司馬遼太郎の魅力」

講師 文芸評論家 清原 康正

を受講して

フリーサークル 田淵 喜代子

話しになり、その一部を読んで説明されました。

坂本竜馬に魅かれ、人の人生が 50 年そこそこであることを踏まえ、未来の扉を開けて「坂の上の雲」を書くに至った経緯などをお話しされました。司馬氏は生存中、「坂の上の雲」を映像化することを許可しませんでした。

数年前友人たちと京都へ旅行した際、出町柳で鯖街道の石碑（終点）を見つけ、司馬氏の「街道がゆく」が話題になりました。司馬氏が日本人の祖形を求めて「近江から行こう」の一言から始まった「街道がゆく」は、25 年にわたる旅の始まりでした。

講演が終わり帰り際に、駐輪場でのチャームングな女性二人の会話が聞こえてきました。「私、司馬遼太郎の本を読んだことがないけど、2 日間の講演を聞いて読んでみたくなりましたよ」（拍手）

第一回目の文芸講座（7/3）は猛暑の中で開催されました。「司馬遼太郎の魅力～人と作品～」と題して、清原先生は冒頭、司馬遼太郎の追悼文「俯瞰の人」（1996 年「週刊読書人」掲載）を読み上げ、司馬氏の死を悼みました。司馬氏の誕生からの年譜に沿ってその生涯と作品群を紹介し、「俯瞰」の真髓を語られました。

すなわち司馬氏は、歴史を通して「日本人とは、国家とは何か、どうあるべきか」を問うているのではないかと感じました。

第二回目（7/16）は各地で豪雨災害があり、所沢でも大雨の中でご来場いただいた皆さま方は、熱心に講義に耳を傾けておられました。清原先生は、司馬氏が 43 歳で「竜馬がゆく」で菊池寛賞を受賞してから 45 歳で「坂の上の雲」の連載が始まるに至る気持ちについて、「あとがき」（1～6）に面白いことが書かれているとお



一般参加者の声

T 氏： 私自身は司馬遼太郎が好きではなかったが、食わず嫌いでは良くないと思い、講座のテーマが『司馬遼太郎の魅力～人と作品～』となっていたので、勉強のチャンスと思って講座に出席した。配布資料がとても分かりやすく、しかも所々に所沢のエポック的な事（1950 年 司馬遼太郎 27 歳、所沢市市制施行など）が載っていて親しみを感じた。

山本周五郎の「よじょう」に触れていたが、司馬遼太郎との関係が良く分からなかった。また、分水嶺が二つあると言っていたが、そもそも分水嶺は一つの山では一つしか無いのでは？また、司馬史観についてもっと知りたかったが『かつて日本人は司馬作品を通して日本の歴史を学んでいる』以外の話がなかった。

「所沢市の地域公共交通」について

～ 最近の「所沢地域公共交通協議会」報告から思うこと ～

傍聴席 村瀬 隆

私は、約 50 年前に「緑と文化のまち所沢」と云うキャッチフレーズに誘われて、ここ所沢市に居を構えた市民の一人です。

当時、多くの人に移り住んだ地域は、鉄道駅からバスで約 15 分以上離れた郊外地でしたが、自家用車を使うことが当たり前でしたので、移動手段には全く不自由なく、快適な住居地でした。しかしその後、住民の多くは高齢化し、運転免許証の自主返納もあって自家用車を利用しない世代へと変化しました。その結果、日常的な買い物は勿論、病院や市役所などの公共施設への移動も困難になるなどで行動範囲は狭小化し、市民として生き生きと活動できる生活環境は著しく低下しました。これら地域の市民は孤立状態にあるともいえます。因みに、所沢市の統計資料(2021 年度)では、鉄道駅から約 1km 以上離れた地域の人口は約 7.4 万人で、これは市の全人口 34 万人の約 1/5 強を占めます。また、これら地域の高齢化率(65 才以上の人口比率)も、市全体の 27.3%に対して、33.2%(地区によっては 38.9%)と一段と高齢化が進んでいます。

ご承知のように、現在、市の公共交通政策として「ところバス・ワゴン」が運行されていますが、これまでに行われた多くのアンケート調査では、「便数の増加」を求める意見が多く、所謂“使える公共交通”に対する期待が強く寄せられています。一方、「所沢市地域公共交通計画」(以下、「計画」という)に基づいて、年度毎にその前年度に実施された施策の達成状況が評価されます。先の所沢市地域公共交通協議会(2023.11.24)で、2023 年度の評価結果が報告されましたので、次の表に纏めてご紹介します。

「所沢市公共交通政策計画」の達成状況 (2023 年)

指標	評価の視点	評価方法	施策の達成状況			評価結果 *1
			基準値 (2022 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2028 年度)	
1	公共交通の利用者数	(鉄道)乗降者数(千人/日) (バス)乗降者数(千人/年)	334 8,118	368 8,809	基準値以上 基準値以上	A
2	ところバス・ワゴンの 収支率*2	(ところバス) % (ところワゴン) %	15.8 8.0	17.8 13.3	基準値以上 基準値以上	A
3	公共交通のカバー圏 域*3の人口割合	カバー圏域内に居住する市民の 割合 (%)	91.1 (2021 年)*4	-	基準値以上 (2025 年)*4	-
4	公共交通の満足度	「所沢市市民意識調査」における交 通政策に対する満足度 (%)	38.3	38.3	52.1	C
5	利用意識の醸成	市民への働きかけ(回数)	1	3	累計 15	A
6	脱炭素への取組み	EV/FCV の導入(台数)	0	0	2	B

*1: 評価結果: A (達成、順調)、B (継続)、C (新たな施策が必要) *2: (運行経費) に対する収入の割合 (%)

*3: 公共交通の利用圏域: 鉄道駅から半径 800m 以内、またはバス停から半径 300m 以内 *4: 国勢調査年

上記の評価結果について各位それぞれにご見解をお持ちのことと思いますが、気付いた点を次に纏めてみました。

- ★(指標 1、2、3) 具体的な「目標値」が示されてこそ、達成状況が適切に判断でき、その後の施策展開が期待されます。
- ★(指標 1、3、4) 市全体に対する評価だけでなく、地域公共交通を必要とする地域に対する評価も必要と思われます。
- ★(指標 2) 所沢市が“社会インフラ”として進める政策事業であって、収支率のみを追求する事業でないことを加味した評価が期待されます
- ★(指標 3) 「バス停があるか否か」でなく、「バス停に、バスが適切に来るか否か」を評価することが強く求められる点と思われます。

総じて、必要な交通手段がそれを必要とする市民に届くための施策が、“マクロな視点”からでなく、“本「計画」の基本方針に照らして、合目的かつ核心に触れる視点”で評価されることが期待されます。

以上、最近の「所沢市地域公共交通協議会」の報告と、小生の所感を紹介しましたが、「地域公共交通」に対する各位のご理解が一層深まる一助になれば幸いです。

サークル活動報告

「刷新された市政と国政のだらしなさ」



傍聴席 石堂 智士



前回報告した新市長誕生後、小野塚市長は1～3月迄の給食費無償、4月以降の新年度予算計上による給食費無償、9月以降の18歳まで医療費無償を市議会に提案し可決。さらに、6月には令和12年4月に中核市を目指すことを発表しました。埼玉県内30万都市として遅れていた中核市実現への第一歩を踏み出しました。川越市、さいたま市、川口市、越谷市に次いで、埼玉県政をリードする所沢市政を期待します。

傍聴席の毎月定例会のテーマは、1月は「総会、計画」、2月は「タウンミーティング」、3月は「新市長施政方針」、4月は「予算書から政策を考える」、5月は「地域公共交通政策の進展状況報告」、6月は「令和6

年度予算書の特徴」、7月は「初の障害者議員を迎えて意見交換会」と刷新市政の新鮮なテーマで1月～7月を運営することができました。会員みなさまのご協力に感謝します。

なかでも、7月の「障害者議員斎藤由紀氏との意見交換会」には、新しい参加者など日ごろ見かけない方々も来られ、多くのご質問をいただきましたことを感謝します。そして、病気になって以降、不幸が重なり学校へ通えなかった中で、家を出て、所沢市に住み、リハビリテーションセンターで研修を受け、就職し、自立し、議員に成長した彼女に心から拍手を送ります。多くの市民の期待を背負っていません、頑張ってください。

みんなの広場



「日傘男子増殖中！」



ITサロン 玉上 佳彦

私は2017年9月号の「広場」の編集後記欄に、以下の拙文を掲載したので覚えている方もおられるかもしれませんが、念のため以下に転載してみます。

『私は数年前から炎天下を歩く際には、男性用日傘を利用している。初めは恥ずかしかったが、日傘によって、体感温度が下がり、日焼け防止にも効果があることがわかって、最近では堂々と日傘をさすようにしている。日傘を女性だけのものにしておくのはもったいない。暑さ対策の一環として、男性の皆様も日傘を愛用されることをお薦めしたい。』

当時は日傘の女性から変な目で見られていたように感じていたのですが、今年の暑さは、7年前と比較するとはるかに暑い夏となっているので、日傘の効果は絶大です。日傘男子の先駆者？である私としては、最近日傘男子が増えているのはたいへんうれしいことです。

私が日傘を利用するようになった時には、男性用日傘は少なく、入手に苦労したのですが、最近は、男女共用や晴雨兼用など種類が豊富で、入手は楽だと思います。

しかしながら、今年のような猛暑・酷暑では日傘や携帯扇風機などの効果が期待できなくなるでしょう。来年以降も地球が悲鳴を上げるような暑さに見舞われるでしょう。これに対応するためには、夏でも涼しい地へと移住したいのですが、そんな場所があるのかどうか疑問ですね。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

9月18日(水)13:30~16:00 中央公民館8・9号室
 テーマ：東京外語大学学生植野君による「エルサレム訪問記」

10月16日(水)13:30~16:00
 テーマ：山下正作会員による報告 内容は未定

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

9月10日(火)13:15~16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 ムソルグスキー歌劇「ボリス・ゴドゥノフ」オペラ鑑賞
 ロシアの存在したボリスの生涯をオペラ化したもの。

10月〇日(火)13:15~16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 モーツァルト歌劇「ドン・ジョヴァンニ」オペラ鑑賞
 ミラノ・スカラ座

3. 食を通して所沢を知る会 (矢崎 みどり 2943-4250)

9月24日(火)10:00~ ふらっと
 ところざ倶楽部まつり発表に向けての準備

10月22日(火)
 横浜中華街・港の見える丘公園散策

4. 地球環境に学ぶ (芝間 伸剛 080-5453-0117)

9月23日(月)10:00~ 新所沢東公民館 9月度の読書会
 9月24日(火)9:00~11:30 月例会 新所沢東公民館

10月22日(火)9:00~11:30 月例会 新所沢東公民館
 10月度の読書会は、未定

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

9月11日(水)13:15~15:00 中央公民館 1階 学習室3号
 定例会 ロングテーマ「100歳時代をどう生きる？」
 一語り合おう！昭和の時代・ふるさと編—
 <SP/スマイルパイレーツ実演日>

9月14日(こぶし団地秋まつり)・9月27日(ところざわ倶楽部まつり)・9月29日(市民活動フェスタ)・10月4日(緑寿荘まつり)

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

9月12日(木)13:00~15:00 新所沢公民館1号室 定例会
 15:00~17:00 和室1号室 まつり舞台練習

9月14日(土)11:00~13:00 新所沢公民館和室1 まつり練習

9月17日(火)9:30~11:30 黄林閣ボランティア

9月21日(土)9:30~11:30 トトロ21号地

9月26日(木)13:00~ ところざわ倶楽部まつりリハーサル

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (佐野 喜代子 2925-4144)

9月19日(木)10:30~12:10 中央公民館1・2号室
 所沢市みどり自然課 出前講座「所沢市のみどりと生物多様性」

10月3日(木) 「武蔵野33観音(4回目)巡り」 9番実蔵院、
 10番新光寺、11番普門院、12番全徳寺

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

9月7日(土)9:00~11:00 中央公民館3号学習室
 ところざわ倶楽部まつり 発表作品練習

9月21日(土)10:00~12:00 中央公民館3号学習室
 ところざわ倶楽部まつり 発表作品練習

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

9月10日(火)10:00~12:30 西新井町会館
 邦画「梟(ふくろう)の城」'99年東映・中井・鶴田真由

9月25日(水)10:00~12:30 西新井町会館~水曜日 注意！~
 洋画「グレンミラー物語」('54年)ルイ・アームストロング
 実話/ラブストーリー/音楽 スウィング・ジャズの創始者
 << 10日、25日 倶楽部祭りの踊り練習 >>

10. 脳活サークル (野口 喜美夫 090-8054-3317)

9月23日 休会

9月27日(金)「ところざわ倶楽部まつり」の「展示部門」に
 「フラワーアレンジメント」として参加

10月25日(金)13:00~ 所沢市パークゴルフ場(柳瀬)
 定例会として「初心者向けパークゴルフ大会」開催
 参加費500円 定員20名(ところざわ倶楽部会員からも募集)

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

9月18日(水) 新所沢東公民館 研修室2号
 テーマ：「中核市移行に関する調査報告書」の学習会
 所沢市は、令和6年6月にこの調査報告書を発表しました。
 中核市移行は、令和12年4月を目指します。

10月21日(月) テーマは9月例会で決定

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

9月20日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館1階
 ボランティア活動室1・2号 定例会
 *ところざわ倶楽部まつり参加に向けて、新作民話二作品
 『あっちいちいの新光寺』『行脚の弥陀』の語り&オリジナル
 ソング『民話はみんなの宝物』を歌って踊って、楽しい稽古

13. ITサロン (ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)

9月9日(月)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号
 9月30日(月)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号

10月9日(水)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号
 10月30日(金)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号

14. 謡曲・仕舞を楽しむ会 (野口 喜美夫 090-8054-3317)

9月3日(火)9:30~12:00 中央公民館 学習室8・9号
 9月17日(火)9:30~11:00 中央公民館 学習室8・9号
 11:00~12:00 中央公民館 学習室4号

10月1日(火)9:30~12:00 中央公民館 学習室8・9号
 10月15日(火)9:30~12:00 中央公民館 音楽室
 観世流 謡曲と仕舞の稽古・練習を行います。

川柳 (九七)号 作品発表 選 岡本詔一郎

課題「なる」

なるようになるよと楽観もう遅い	リンゴ好き
何事も成るようになる気を揉まず	詔笛
夏休み教師汗かき子は河童	峯声
なっているそれはお腹か腹減った	海さどる
生り過ぎたお化けのキュウリまた見付け	突拍子
成せば成る信じたけれどドジばかり	縄文人

「自由題」

気を抜くとへまをしでかすお年頃	詔笛
蓮見では泥の中より女神様	海さどる
散歩道収穫競うミニトマト	峯声
なぜバケツひっくり返す雨の比喩	突拍子
しかたない文化が違う外国人	縄文人
孫7人何か似ている笑うツボ	リンゴ好き

宛先 okamotosh@gmail.com

次回(第九八回) 課題「大きい」そして「自由題」
 〆切り…9月20日 担当…岡本まで、どなたでも

理事会報告

7月8日(月)第8回理事会を開催しました

第8回ところざわ倶楽部まつりを9月27日(金)に中央公民館ホール・ホワイエで開催します。

理事および会員のみなさまのご協力・ご参加で大いに盛り上げましょう!

9月26日(木) 展示パネル設置、舞台リハーサル

9月27日(金) 本番 11:00 開場、16:30 終了

*フードバンクへの協力をお願いします!

まつり会場入り口にBOXを設置します。

(所沢には隠れた生活困窮者が多く昨今の物価上昇でますます厳しい状況に陥っています。

食料品だけでなくお菓子も子どもたちに喜ばれています。ひとり一品でも結構です!)

食を通して所沢を知る会一同

- ・11月28(木)に第18期定期総会を開催します。
- ・第30期市民大学修了生を中心に倶楽部への入会受付を9月から開始します。

アジア研究会からのお知らせ

“エルサレム見聞記”

東京外語大学現役学生登場!

*東京外語大学アラビア語科3年生植野平良さんを招いて、エルサレムを旅行してきた写真を見ながらお話を聞きます。

日時:9月18日(水) 13:30~16:00
(13:30~アジ研例会 14:00~見聞報告)

場所:中央公民館8・9号室(50名募集)

報告者:植野平良氏
(トコトコ農園会員、弥生町在住)

お申込み:アジア研究会代表 玉上佳彦
090-2497-1076 ytama@mtj.biglobe.ne.jp

編集者から

連日の猛暑、皆様いかがお過ごしですか。あまりの暑さにセミも鳴くのをつめらっているようだ。パリオリンピックが無事に幕を閉じ、日本は金メダルを20個獲得、海外開催では過去最高となった。無観客の東京五輪から一転、大観衆の声援は選手の皆さんに勇気を与え祝祭感を届けてくれた。東京開催より3年、過ぎ去ってみればあっという間だが、ロシアのウクライナ侵攻、安倍元首相暗殺、イスラエル・パレスチナ紛争等後世の歴史に残るような出来事も起きている。平和の祭典の開催中も様々な紛争は続き、現実世界とのギャップに複雑な思いだ。一日も早い平和の到来を祈りたい。

川上:記